

---

# 株式会社メガチップス

2018年3月期 決算説明

<http://www.megachips.co.jp/>

# 目 次

---

- 1. 2018年3月期 業績報告 ..... 3
- 2. 2019年3月期・中期 経営方針 ..... 7
- 3. 2019年3月期・中期 業績予想 ..... 12

# 2018年3月期 業績報告

---

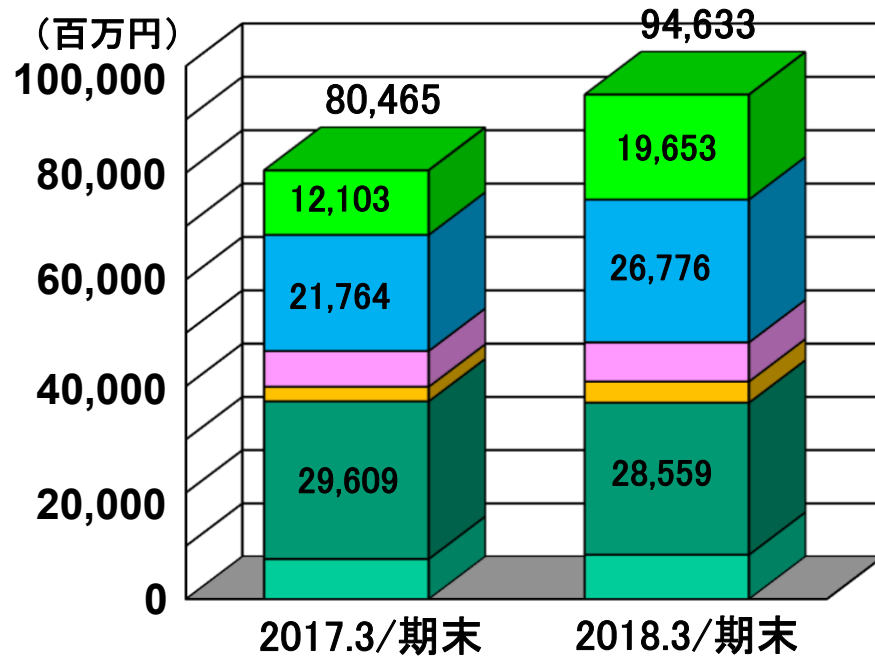
# 2018年3月期 連結業績(P/L)サマリー

(単位:百万円)		2018.3期 通期実績	2018.3期 通期予想	対予想	2017.3期 通期実績	対前年 同期比
連結	売上高	89,029	87,000	+ 2.3%	67,438	+ 32.0%
	のれん等償却前 営業利益	5,520	4,900	+ 12.7%	4,922	+ 12.1%
	のれん等償却	2,811	2,800	+ 0.4%	2,996	—
	のれん等償却後 営業利益	2,709	2,100	+ 29.0%	1,926	+ 40.6%
	経常利益	2,207	1,700	+ 29.9%	994	+ 121.9%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,948	1,600	+ 21.8%	- 947	—
	1株利益(円)	90.05	73.78	+ 22.1%	- 44.14	—

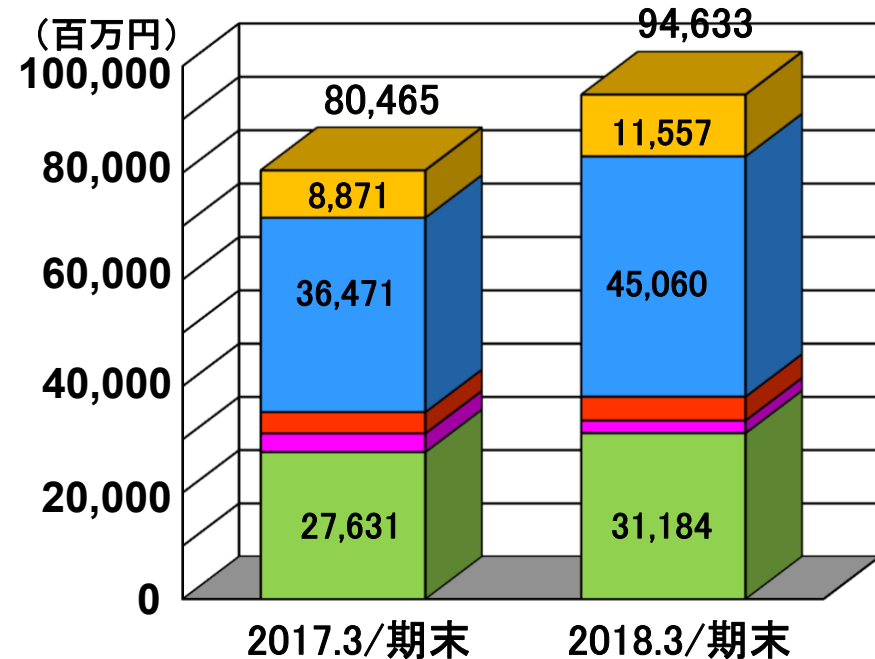
2018年3月期の連結業績につきましては、ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)、Smart Connectivity LSI 及びMEMSタイミングデバイスの需要がそれぞれ増加したことにより、売上高、各利益とも前年同期を上回る結果となった。  
また、売上高及びのれん等償却前営業利益は、過去最高となった。

※2017年3月期 期末為替レート:米ドル 112.19円、台湾ドル 3.6955円  
 ※2018年3月期 期末為替レート:米ドル 106.24円、台湾ドル 3.655円  
 ※2018年3月期 通期予想前提為替レート:米ドル 110円、台湾ドル 3.7円

# 2018年3月期 財政状態

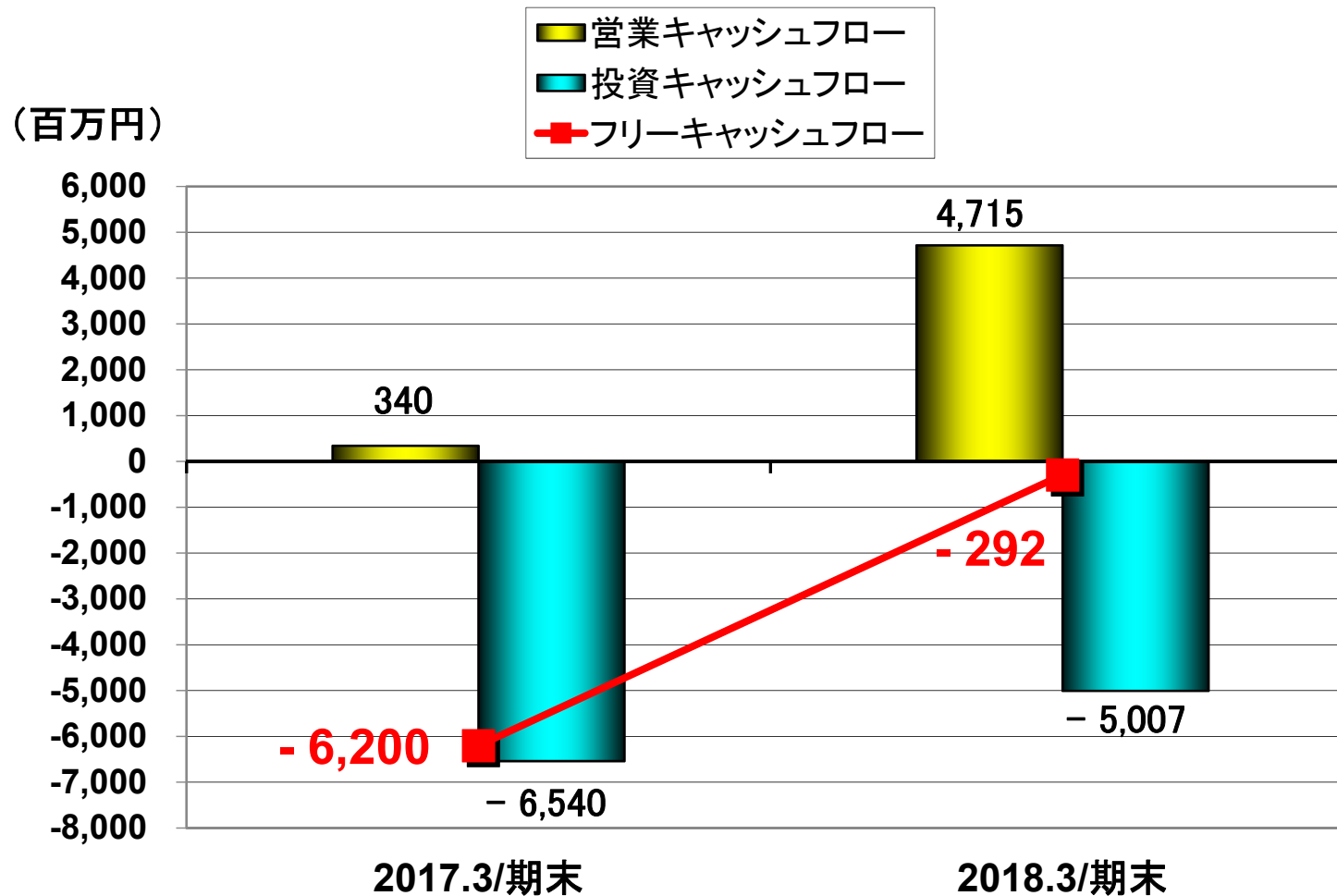


	2017.3/期末	2018.3/期末
現金及び預金	12,103	19,653
受取手形及び売掛金	21,764	26,776
たな卸資産	6,714	7,345
その他の流動資産	2,736	3,968
無形、有形固定資産	29,609	28,559
投資その他の資産	7,539	8,332



	2017.3/期末	2018.3/期末
支払手形及び買掛金	8,871	11,557
有利子負債	36,471	45,060
その他流動負債	4,005	4,471
その他固定負債	3,487	2,361
純資産	27,631	31,184

# 2018年3月期 キャッシュフロー



# 2019年3月期・中期 経営方針

---

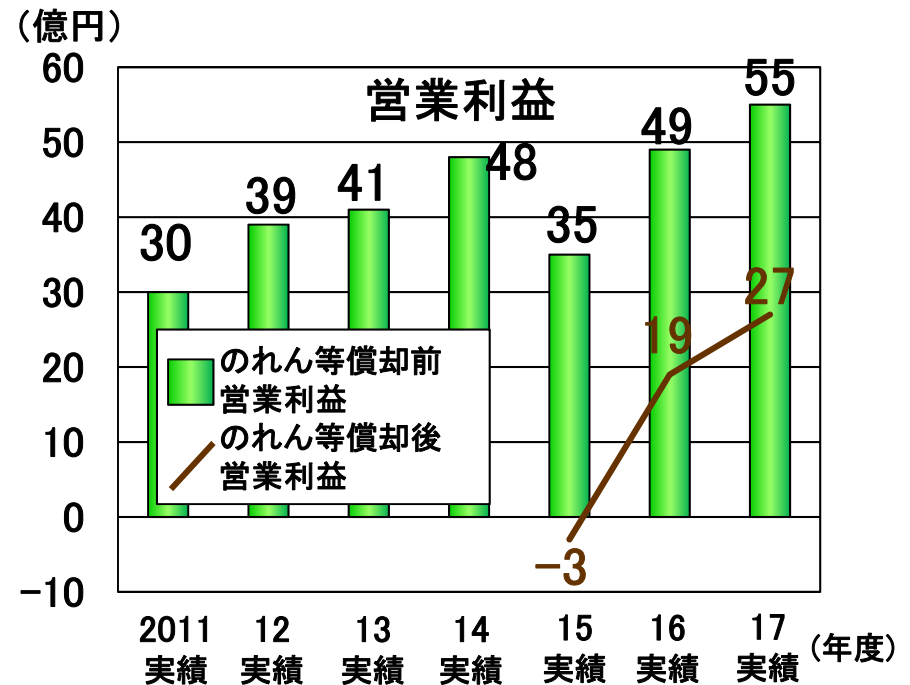
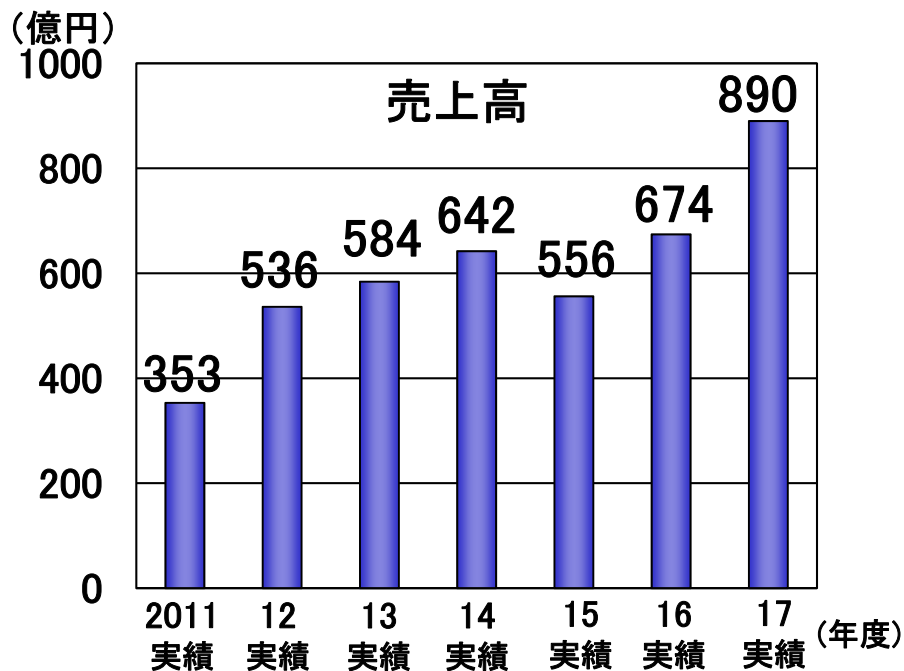
# 2018年3月期の成果

## ■ 過去最高売上高／過去最高のれん等償却前営業利益

- ・MEMSタイミング分野の採用機種拡大
- ・液晶向けおよびOA機器向け分野は減少したものの、アミューズメント分野の拡大

## ■ 中期長期の成長への布石

- ・注力事業(MEMSタイミング分野)での製品ラインナップ拡大
- ・車載、産業機器分野での新規開発案件を複数件受注





# 2019年3月期 中期経営方針

新しいアプリケーションを創造するとともに、  
システムソリューションを提供し続けるグローバル企業として  
継続的な成長を目指す。

## ①ASIC事業

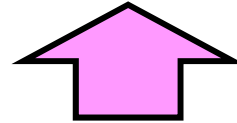
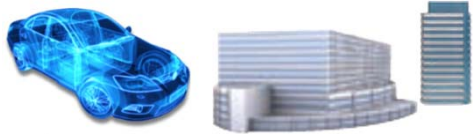
高速有線通信分野の独自のコア技術を核として、  
「車載分野」、FA、ロボティクスなどの「産業機器分野」向けに、  
応用分野の拡大と国内外の有力顧客の獲得を図る。

## ②ASSP事業

「MEMSタイミングデバイス」を核として  
グローバル有力顧客とのビジネス拡大を図るとともに、  
「通信インフラ分野」、「高速有線通信分野」にて、  
中長期の事業展開を図る。

# 中期経営方針

中長期に継続的な成長を目指す



高速有線通信技術を核とし、  
車載/産業機器/通信インフラ分野への展開

MEMSタイミングデバイスを核とした  
グローバルでのビジネス拡大

グローバルでのASIC案件の獲得および  
成長市場での開発集中投資の継続



将来の成長への布石

ビジネス拡大への加速

競争力/収益性の強化

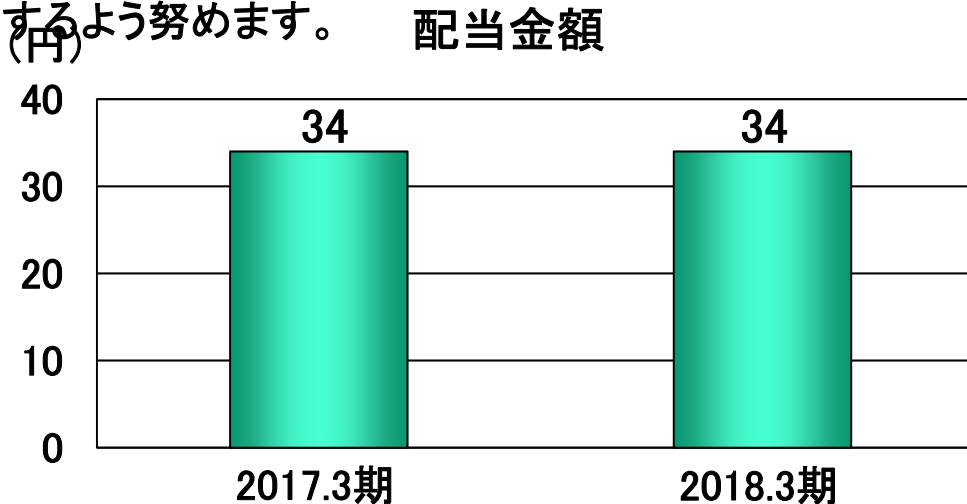
- ・情報技術革新の急速な進展
- ・機器のキーデバイスである半導体製品のニーズの多様化

# 中期経営方針

## 利益配分に関する基本方針

### 【方針】

- ①中期的な経営状況の見通しを考慮の上、親会社株主に帰属する当期純利益(但し、会計・決算・税務上の特殊要因は、十分勘案の上、加減算することもあります。)の30%以上に相当する額を配当金総額として決定し、これを期末時点で保有する自己株式数を差し引いた期末発行済株式数で除した金額とします。
- ②企業価値の持続的な向上を目指し、革新的な新技術の創出のための基礎研究や独創的な製品の開発、適正な事業ポートフォリオの実現、優秀な人材の獲得など、中長期の成長に向けた資金を確保すること、ならびに経営環境の変化にも耐えうる健全な財務体質を維持すること、にも配慮します。
- ③資本効率向上のため、市場の状況、株価動向、財務状況等を勘案し、機動的に自己株式を取得し、株主の皆様へ還元するよう努めます。



# 2019年3月期・中期 業績予想

---

# 中期業績予想

(単位:百万円)		2019.3 通期 予想	2020.3 通期 予想	対前年度 増減率	2021.3 通期 予想	対前年度 増減率
連結	売上高	95,000	100,000	+ 5.3%	115,000	+ 15.0%
	のれん等償却前 営業利益	5,000	5,700	+ 14.0%	9,200	+ 61.4%
	のれん償却	2,700	2,700	—	2,700	—
	のれん等償却後 営業利益	2,300	3,000	+ 30.4%	6,500	+116.7%

※2018年3月期～2020年3月期 前提為替レート:米ドル 105円、台湾ドル 3.6円

## 中長期の継続的成長を目指す

### ■売上高

- ・2019年3月期 1000億円の突破
- ・ASIC事業、ASSP事業の両事業を伸ばす

### ■利益

- ・中長期の成長に向けた開発投資増を見込む
- ・2021年3月期 のれん等償却前営業利益率 8%以上

# 2019年3月期 業績予想

(単位:百万円)		2019.3 通期 予想	2018.3 通期 実績	対前年 通期 増減率
連結	売上高	95,000	89,029	+ 6.7%
	のれん等償却前 営業利益	5,000	5,520	- 9.4%
	のれん等償却	2,700	2,811	—
	のれん等償却後 営業利益	2,300	2,709	- 15.1%
	経常利益	1,800	2,207	- 18.5%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,000	1,948	- 48.7%
	1株利益(円)	46.03	90.05	—

※2018年3月期 期末為替レート:米ドル 106.24円、台湾ドル 3.655円

※2019年3月期 前提為替レート:米ドル 105円、台湾ドル 3.6円

## ≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組みます。

## ≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

## ≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。  
また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

## ≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

## ≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

## ≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

## ≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。



## 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス  
財務統括部 広報課

[ir-team@megachips.co.jp](mailto:ir-team@megachips.co.jp)

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル  
TEL: 06-6399-2884(代) FAX: 06-6399-2886